

ヨシナカ新聞

夕焼けが赤いのは

訪問先から最寄の駅までの道程を歩いて、ふと西の空を見ると、夕焼けと秋のうろこ雲がとても綺麗だったので、つい立ち止まって撮影してしまいました。

小さい頃を思い出して、赤く見える夕焼けは何か調べるの波長が長いよるものだと、光の波長が長いと赤く見える。夕焼けは、太陽光が地球の空気層(大気圏)に入る時に空気中のチリ(分子)とぶつかり、光の向きがかわります。つまり、波長の短いものは、赤い光が散らばりやすいため、夕焼けは赤い色になります。



(参考資料：富士通研究所ホームページ)

青の方が波長が短いのは、それだけチリにぶつかる確率が高いので、あちらこちらに光が散らばりやすくなる。空が青く見えるのは、波長の短い青い光が空にばらばらに散らばっているからです。

夕焼けが赤いのは、太陽光が地球の空気層に入る時に空気中のチリ(分子)とぶつかり、光の向きがかわります。つまり、波長の短いものは、赤い光が散らばりやすいため、夕焼けは赤い色になります。

ちょっとした裏技?

かまぼこを包丁を使わずに、板に貼ってしまったり、身を削ってしまったり、板をよく削ってしまったり、ただこれはこれで板に残ったかまぼこを削り取って食べると、やっばり綺麗に剥がすにこしたことはありません。先日、インターネットとかまぼこの背を使うと綺麗に剥がせるという方法を知り、早速その日にスーパーでかまぼこを買って帰り、試してみたら、結果は、本当に綺麗に剥がす事が出来ました。皆さんはご存知でしたでしょうか?



11月号
発行所
株式会社ヨシナカ
大阪本社工場
TEL: 072-977-8861
FAX: 072-976-0634

ステンレス豆知識 イオン化傾向

一昨年(平成17年)の8月号で、ステンレスと鉄が接触すると環境下の水分を通して電流が流れ腐食が促進されるということを書きましたが、今月号ではそのあたりをもう少し掘り下げてみたいと思います。

皆さん、「イオン化傾向」という言葉をご存知でしょうか? 「イオン化傾向」とは、水の中で単金属が金属結合から金属イオンとして出やすい順に並べたものです。「貸(K)そうか(Ca)な(Na)、ま(Mg)あ(Al)当(Zn)て(Fe)に(Ni)す(Sn)な(Pb)、ひ(H)ど(Cu)す(Hg)ぎ(Ag)る借(Pt)金(Au)」

これはイオンになりやすい順に並べて、覚えやすくしたのですが、特に水素(H)よりもイオン化傾向が下(イオンになりやすい)の金属は、空気中

の水分でイオン化して、空気中の酸素などと結びついて酸化物を作ろうとします。これらを卑金属と言います。

逆に金(Au)や銀(Ag)などは貴な金属、「貴金属」と呼ばれています。

卑(いや)な金属は単体でもイオン化しようとしませんが、イオン化の違う金属を接触させると、イオン化の下位の金属はイオン化が促進されます。

電位が大きく離れている金属同士が電解質中(電気が流れやすい状況)で接触すると、卑(いや)な金属の方のイオン化がますます促進されます。これは、電位の違う二つの金属が電解質中で接触すると、卑な金属がアノードとなってイオン化(腐食)が助長され、貴な金属の方はカソードとなってイオン化が抑制されます。アノード側で助長される腐食を「異種金属接触腐食」と言い、その時カソード側では腐食が抑制されていて、これを「カソード防食」と言います。

ステンレスの流し台の上に鉄くぎを置いて、水道水で濡らして一晩でも置いておくと、翌日にはくぎの形に沿った「赤さび」が流し台の上に出てくる場合があります。

ステンレスは合金ですから、イオン化列には見当たりませんが、イオン化列に当てはめると銅(Cu)と同じくらいです。つまりこの場合は鉄くぎが卑な金属、ステンレスが貴な金属で、鉄くぎの方のイオン化(腐食)が促進されたこととなります。

他に例えばアルミのリベットでステンレス建材を固定したりすると、風雨に曝されているうちに、アルミリベットの腐食が促進され、固定に必要な強度が保てなくなったりします。

どうしても異種金属を接触させる必要がある場合は、直接接触しないように「絶縁」させておくことが必要になります。(参考資料：ステンレス協会ホームページ)

K社員のピアノ奮戦 第二十一話 発表会その5

いくら練習しても指が残っていると先生に指摘され、ハノンなんか、もうしたくないと思ってしまう。始めたばかりなのに、ハノンの代わりに新しい曲の練習をしたい。私の逃げ口上に先生は嫌な顔一つせず了解下さいました。今、考えると本当に情けない話です。

ハノンの代わりに初心者用にアレンジされた『ソラ』と『星に願いを』の2曲を1回のレッスンで練習しました。そして『星に願いを』は発表会の数日前に再び弾けるようになり、発表会を迎えました。

発表会会場はドイツランドにある東急ベイホテルの12階の演奏舞台が設置されているラウンジ風のお店でした。

私は3番目。勿体ない紹介を司会者の方にして頂いてピアノの前に座り譜面をグランドピアノの譜面立てに立てかけます。そして『星に願いを』を弾き始めます。

緊張で指がガクガク震えます。止めようと思っても止まりません。イントロから間違いますが、先生の指示通り止まることだけは避けて弾き続けます。

簡単な曲なのに間違だらけで演奏を終えました。